

『言語文化と日本語教育』

投稿規定

1. 資格：会員に限ります（共著の場合は、第一執筆者が会員であること）。投稿時における当該年度の会費を納入していることを必要とします。申し込みと同時に入会も可。
お茶の水女子大学日本語教育コースの関係者以外は、本研究会での発表後の投稿をお願いいたします。
2. 内容：日本語教育とそれに関連する領域の未発表のものに限ります。カテゴリは、下記のA～Eがあります。Aは外部査読者による査読があります。
B～Dは運営委員会で採否を判断します。
 - A. オリジナルな研究・実践の報告または総括・論考
 - * 投稿回数に制限はありません。
 - * 「研究ノート」としてすでに本誌に掲載されたものを発展させ、改めて「研究論文」として投稿することもできます。
 - A-1. 研究論文：研究史あるいは社会的ニーズなどの中で当該研究が適切に位置づけられ、追究する価値のある研究課題に対し、妥当性のある方法によって、報告価値のある結果を報告し、十分な解釈・考察を加えたもの。10枚以内。
 - A-2. 研究ノート：追究する価値のある研究課題に対し、妥当性のある方法によって、報告価値のある結果を報告しているもの。8枚以内。
 - A-3. 調査・実践報告：今後の研究および教育活動に資する内容の調査結果、または実践例の報告が明確な根拠および主旨に基づいて述べられているもの。10枚以内。
 - B. 教育事情報告：国内外の日本語教育事情について報告したもの。10枚以内。
 - C. 日本語教育に寄与するテーマの書籍・論文の紹介
 - * 掲載に先立ち、運営委員会から投稿者に改稿の助言をすることがあります。
 - * 適宜、運営委員会が特定のテーマや書籍に関する書評を募集する場合があります。
 - C-1. 書評：独自の観点を持って、特定の書籍を論評するもの。10枚以内。
 - C-2. 文献紹介：特定の論文や書籍を紹介するもの。
紹介するものが論文の場合は2枚以内、
書籍またはそれに匹敵する字数規模の論文の場合は5枚以内。

D. 短報

- D-1. リサーチコンセプト：研究ないし実践に関する提案。2枚以内。
- D-2. 事象報告：報告価値のある事象を報告するもの。2枚以内。

E. 博士論文・修士論文紹介

※『言語文化と日本語教育』発行の前年度に学位を取得されたものを掲載します。

E-1. 博士論文紹介

執筆者氏名、論文題目、キーワード、要旨（B5一枚40字×35行＝1400字以内）、
学位取得年月、取得学位名、学位授与機関名

E-2. 修士論文紹介

執筆者氏名、論文題目、キーワード、要旨（300字以内）、
学位取得年月、取得学位名、学位授与機関名

- 3. 様式と提出方法：上記A・Bの様式とC・Dの様式、Eの様式があります。
- 4. 【A・Bの様式】オリジナルな研究・実践の報告または総括・論考／教育事情報告
 - ① 原稿：以下の項目を次の順序で、MS-Word形式のファイルB5判横書き23字×44行×2段組み（『言語文化と日本語教育』書式参照）にして規定枚数以内に整える（当研究会のホームページからMS-Word形式の雛形ファイルをダウンロードできます）。

論文名
邦文要旨（1段 48字×9行以内）
キーワード：日本語で5項目以内
本文 本文（図表を含む）
注
参考文献
資料
英文要旨 論文名
キーワード（英語で5項目以内）
要旨本文

※ 英文要旨と英語のキーワードは、応募原稿の段階で忘れずに入れること。

※ Aの原稿は、氏名・所属など個人を特定する情報はすべて伏せ、謝辞・クレジットは審査段階では本文に記載しないでください。

※ 採択の場合、本誌の書式（次頁参照）にしたがって執筆者名と所属を記載したファイルの提出をお願いします。

※ MS-Word形式のファイルが使用できない場合は、編集担当（genbun.toukou@gmail.com）にご相談ください。

- ② 投稿応募フォーム：論文名、執筆者名、所属機関、連絡先（住所、FAX、

E-mail) 共同執筆の場合は連絡代表者を明記する。

- ③ 回答集：すでに本誌に投稿した論文で、最終評価が「再投稿」だったものを投稿する場合、前回投稿の号数、前回投稿時の論文名（今回の投稿で変更した場合）および前回査読者から受けた指摘について、どのように修正したかが具体的に分かるようにまとめた回答集を添付すること。
- ④ チェックリスト：応募原稿の書式をご自身で確認していただきます。（当研究会のホームページからダウンロードできます。）

【C・Dの様式】書評・文献紹介／短報

2枚以内。要旨なし。その他はA・Bの様式と同じ（『言語文化と日本語教育』書式参照）。

【Eの様式】博士論文・修士論文紹介

以下の項目を次の順序で、MS-Word形式のファイル B5 判横書きに整える（MS-Word形式の雛形ファイルを当研究会のホームページからダウンロードできます）。

論文題目、執筆者氏名（ふりがなも）、学位取得年月、取得学位名、学位授与機関名、キーワード、要旨

博士論文要旨は40字×35行＝1400字以内、修士論文要旨は300字以内。

電子メールに連絡先（住所、FAX、E-mail）を明記すること。

5. 表記：編集担当で表記の統一をさせていただくことがあります。
6. 宛先：編集担当専用アドレス（genbun.toukou@gmail.com）
上記①原稿と②投稿応募フォーム③回答集（再投稿の場合）をMS-Word形式のファイルで作成し、E-mailでお送りください。
※E-mailが使用できない場合や、特殊文字・図版等の使用により添付ファイルでの提出ができない場合は、上記アドレスにご一報の上、書類を事務局（奥付参照）まで郵送かFaxでご提出ください（締切当日消印有効）。
7. 採否・改稿依頼：運営委員会による決定を、編集担当からお知らせします。
8. 複製・配布：投稿をもって、『言語文化と日本語教育』に掲載された原稿を印刷あるいは電子媒体等により複製・配布することを、執筆者がお茶の水大学日本言語文化学会研究会に対し許諾したものと見なします。
9. 寄贈：『言語文化と日本語教育』に掲載された論文の投稿者（共著の場合は筆頭執筆者）に、掲載号を1部進呈します。
9. 転載：論文内に図版や写真などを転載した場合、執筆者は編集責任機関または編

集責任機関に対し許諾を与える著者から、論文への転載許諾およびその論文の印刷あるいは電子的な方法等による複製・配布の許諾を得てください。

『言語文化と日本語教育』 書 式

B5 判横書きワープロ原稿、23 字×44 行×2 段組み

余白：上下左右 17mm 本文 2 段組み内側 6mm

フォントは下記の書体をお使いください。

数字はすべて半角の算用数字を使用してください。

		「明朝体」	「ゴシック体」
Windows	和文	MS 明朝	MS ゴシック
Macintosh	欧文・数字	Times New Roman	Arial

論文名：18 ポイント「ゴシック体」左右中央 副題は 14 ポイント

執筆者名：11 ポイント「明朝体」右寄せ 採択原稿のみ

和文要旨（400 字以内）：8 ポイント「明朝体」 行間 固定 12 ポイント

キーワード（5 語以内）：8 ポイント「明朝体」

本文（図表・注・参考文献・資料）

本文：9 ポイント「明朝体」行間 1 行

注：8 ポイント「明朝体」行間 固定 12 ポイント

参考文献：8 ポイント「明朝体」行間 固定 12 ポイント

資料

所属：9 ポイント「明朝体」右寄せ 採択原稿のみ

*見出しは9 ポイント「ゴシック体」

*章と章の間のみ、1 行あける。

*図表内の文字もできるだけ、本文に準じる。本文との間を 1 行以上あけること。

英文要旨

論文名：12 ポイント Arial 左右中央

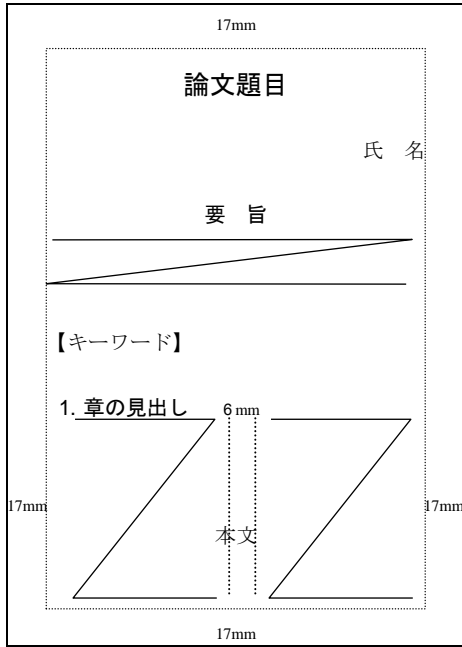
執筆者名：10 ポイント Times New Roman 右寄せ 採択原稿のみ

本文（200 語以内）：9 ポイント Times New Roman

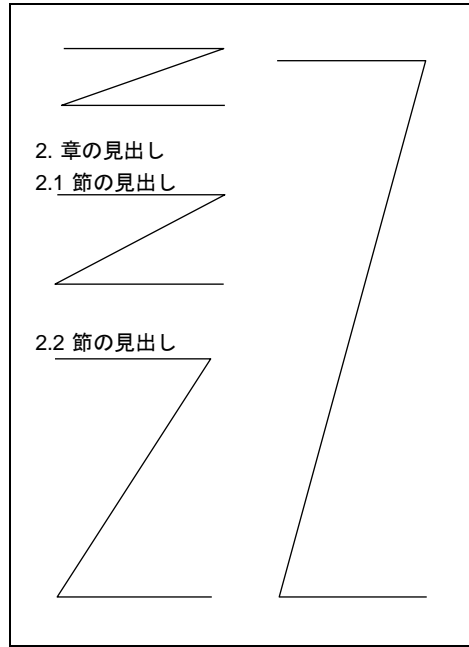
行間 固定 12 ポイント

所属：9 ポイント Times New Roman 右寄せ 採択原稿のみ

用紙サイズ：B5判（182mm×257mm）



(1 ページ目)



(2 ページ目)

_____ (2)-----

注
 (1)-----
 (2)----- (3)-----

参考文献 (4)-----
 (1)----- (5)-----

 ひらがなで氏名／所属
 メールアドレス

稿末資料 1

(9 ページ目)

稿末資料 2

英文題目
 _____ 氏 名

 英文要旨

【Keywords】
 _____ (所属)

(10 ページ目)

2018年 予定

<論文投稿>

『言語文化と日本語教育』53号： 2018年10月発行予定

論文提出締切：2018年3月15日（木）

- ・ 投稿を希望なさる方は、投稿応募フォーム（当研究会ホームページからダウンロードできます）に必要項目を記入し、論文原稿他とあわせて、編集担当（genbun.toukou@gmail.com）にE-mail（または郵送）でお送りください。
- ・ 投稿の際、会費の納入をご確認ください。申し込みと同時に入会も可。

<研究発表>

第54回お茶の水女子大学日本言語文化学会研究会研究発表会： 2018年10月予定
発表申し込み締切：2018年8月予定(期日は研究会ホームページでご確認ください)

- ・ 発表を希望なさる方は、上記の期日までに、エントリー用紙（当研究会ホームページからダウンロードできます）に必要項目を記入し、事務局（genbun@cc.ocha.ac.jp）にE-mailまたはFaxでお申し込みください。
- ・ 資格：会員に限ります（共同発表の場合は全員が会員であること）。発表時における当該年度の会費を納入していることを必要とします。申し込みと同時に入会も可。

* 投稿応募フォーム、研究発表エントリーフォーム等、各種必要フォームは下記の当研究会ホームページ上に掲載されております。

<http://www.dc.ocha.ac.jp/comparative-cultures/jle/genbun/index.html>

<お知らせ>

- ・ 2016年（51号）より、『言語文化と日本語教育』は年1回の発行、研究会は年1回の開催になりました。
- ・ 46号より、従来の題目提出を廃止し、締切日に論文原稿を提出していただくことになりました。お間違いのないよう、ご注意願います。

お茶の水女子大学日本言語文化学会は、日本言語文化学・日本語教育の研究と会員相互の交流に資することを目的とします。本研究会の趣旨に賛同される方はどなたでもご入会いただけます。入会をご希望の方は事務局までお問い合わせ下さい。